

臨床研修病院における図書館(室)実態調査報告

和気たか子¹⁾、渡邊幸代²⁾、及川はるみ³⁾、武田克彦⁴⁾

¹⁾藤沢市民病院図書室、²⁾日本赤十字社医療センター図書室、³⁾聖路加国際病院医学図書館

⁴⁾元日本赤十字社医療センター図書・研修推進委員会委員長

1. 目的 2004年4月から必修化された医師の新臨床研修制度のもと、臨床研修病院に指定された病院の図書館(室)の実態を明らかにしどのような課題があるかを探る。さらに医科系大学図書館・大学附属病院図書館(以下、大学図書館)との比較により、格差を明らかにする。
2. 方法 調査概要は次のとおりである。
【調査対象】財団法人医療研修推進財団ホームページに掲載の「平成17年臨床研修病院リンク集」「臨床研修病院ガイドブック2006年度版」に登録のあった一般病院と大学病院の全図書館(室)、【調査期間】2006年1月10日～27日、【調査方法】往復ともに郵送法(図書館(室)宛に)、【回収率】37.5% (1039館配布、回収390館)、390館の内訳(大学64館、一般病院326館)、【設問】設問数は32問(病院基本情報5問、図書館(室)基本情報11問、図書館(室)担当者3問、蔵書6問、図書館(室)サービス7問)。回答内容は各項目ごとに最新データが記載できるように何年何月現在と示唆した。
3. 結果 各病院の統計方法が異なっていたり、統計がなかったりしていたため、各項目の有効回答数は異なっている。有効回答数による平均値を示し、一般病院の現状を示す。病床数は300～500床、常勤医師は72人、1年次研修医は6人、2年次研修医は5.7人、管理型の研修形態、図書室は事務部門に属し、113㎡の独立した部屋を持って、11席、利用者用パソコン2.6台、図書館事務用パソコン1台、インターネットに接続している。図書委員会はある。利用時間は決まっているがそれ以外は鍵を借りて利用している。66%が図書館団体に加盟している。担当者は1.4人、雇用形態は正規職員で兼任で司書資格なしが多く、経験年数は5年以下が93%である。蔵書は単行書3834冊、製本雑誌6434冊、受入雑誌は150誌、2004年度の単行書受入数は268冊、資料購入費は889万円である。分類はNLMCを使用。選書は図書委員会で行われている。文献複写申込は622件、受付は273件、経費は私費である。代行検索数は実施館111で平均70件である。データベースは医中誌が244館、JDreamが79館、UpToDateが89館利用している。図書館利用教育プログラムを用意しているのは79%、文献検索でアドバイスができる図書館員がいるのは70%であった。

*この調査は日本赤十字社医療センター奨励研究費により行われたものである。